



市長／温かいそうめんも今の時期はおいしいですよ。「そうめん料理コンテスト」を市では実施しましたが、どれもおいしかったので、よければ、作ってみてください。

上田／自分で作っているから当然かもしれませんが、なんでも新鮮でおいしいです。自分で作っていない果物も隣からもらったりとか。
上田／安心ですしね。

市長／特産品のそうめんはどうですか？

上田／そうめんはお弁当に持っていくぐらい大好きです。家でゆがいたものを朝から職場の冷蔵庫に入れてあります。



市長／自分で作っているから当然かもしれませんが、なんでも新鮮でおいしいです。自分で作っていない果物も隣からもらったりとか。有名人にイベントに来てもらい、テレビなどで、南島原市のことを言ってもらおう、というのの効果が高いと思います。

門畑／私たちの情報のほとんどがテレビからですからね。

市長／そのとおりですね。先日、地元出身の岡部真理さんを招いて地域振興フォーラムを開催しました。地元出身のタレントさんが、地元のPRをしてくれる。これほどの効果はなかなかありませんね。

門畑／美輪明宏さんがよいのではないのでしょうか？本人は天草四郎の生まれ変わりと云っててくるから、いんですから。何より僕が好きなので。

食べ物がおいしい

それと：
二人／食べ物がおいしい。



うまだ まなみ
上田 愛実さん（深江町）
職業：ドコモショップ島原店
趣味：コンサート・舞台鑑賞



かしばら さとる
門畑 慧さん（加津佐町）
職業：農業（レタス栽培）
趣味：熱帯魚観賞
夢：動物としゃべれるようになること

新成人 × 松島市長 座談会

市長と新成人が、南島原市について対談。
南島原市に住む二人が感じていること、市長に伝えたかったこととは？
文字どおり、明日の南島原市を担う二人の横顔に注目してみました。

市長／成人おめでとう。
門畑／「何でも話してくれ」とのことなんですが、せっかくですの、市長が若かったころの話をお願いします。

市長／私たちが二十歳を迎えるまでの日本は、「ないものばかり」でした。テレビばかり、自動車ばかり。一方で君たちの身のまわりには、ないものがない。経済的に買えない、ということはあっても、物は何でもありますよね。何でもあつて当たり前からスタートする人生は、うらやましくもあるけど、味気ない気がします。これまでとは違う価値観が今後は必要なのかもしれませんね。

上田／うちの近所はよく水道が止まりますね。確かにそのたびにありがたいなあ、と思います。

市長／南島原市のよいところはどこですか？

門畑／やはり「田舎」なところですね。高校は寮生活だったので、道で会っても誰もあいさつしない。こちらでは、近所の人たちとあいさつするのは当たり前。地域に守られてるという実感があります。

もっとも、私の近所には街路灯がなくて困っています。中学生のころ、川に自転車ごと突っ込んでしまいましたので。

マスクミを利用して

ところで、市に足りないものはありませんか？

市長／よく考えていただいていますね。実は、私も個人的に交渉したりしている最中なんです、なかなか難しいですね。

ほかに足りないところはありますか？

交通アクセスが問題



門畑／都会から遠いことも、いろんな意味でネックですね。出荷ひとつとっても経費が全然違います。仲間うちで出荷組合を作るなど差別化を図っているのですが、都会の消費者との実際の距離がもっと近ければ、違う売り方ができると思うんですけどね。

上田／買い物とかも遠くに行かないと欲しいものが手に入らない。「物がそろわない」というのは、「暮らす」視点からは魅力が半減してしまいますね。

あと、アクセス、という意味では鉄道がなくなったのは、やはりさみしい。努力はされたと思いますが、存続できなかったのかな、と今も考えてしまいます。



西有家町



北有馬町